

第2学年 生活単元学習指導案

2年1組 5人

指導者 CT 寺山みなみ

ST 草野 真衣

1 単元名 おもてなしをしよう

2 単元目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">食材の計量や調理に必要な道具の使い方を知り、道具を正しく扱うことができる。身近な食材を使い、物にはそれぞれ重さやかさがあることなどに気付くことができる。
思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none">自分の考えや気付いたこと相手に伝えることができる。レシピをインターネットや本で調べたり, 試行したりしながら食材の特徴を生かし, レシピを考えることができる。
学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none">身近な人のことを考え, おもてなしをするための準備をしたり, 招待状作りや調理学習に取り組んだりすることができる。学んだことを生かし, 自ら活動に取り組もうとしたり, 友達と互いに協力して活動に取り組んだりすることができる。

3 単元について

本学級の生徒は、これまでに、梅雨や夏の季節の単元で梅シロップやアイスクリーム作りなどの調理学習に取り組み、梅の実と氷砂糖だけでシロップができる過程の観察や、氷と塩を使って凝固点を下げ、アイスクリームを作るなど、身近な物を使ったあっと驚く発見に全員が興味をもち、楽しく学習ができる体験活動に取り組んできた。しかし、これらの学習の中で、レシピの材料の重さを確認しないことがあったり、材料の重さを見かけで判断したりすることが分かった。また、興味がある活動でも、ペットボトルの蓋を開けた経験がなかったり、液体を容器に注ぐ動作がぎこちなかったりし、活動に取り組みたい気持ちはあるが、活動に対しちゅうちょする様子が見られ、進んで友達と協力している場面も少なかった。これは、それぞれの物の重さへの関心が低かったり、日常の基本的な活動経験の乏しさや、自信のなさから自発的な行動や発言が少ないために、友達と行動を合わせて協力しようとしなかったりするからだと考える。

そこで本単元では、身近な人への感謝の気持ちとして、お菓子やジュースを作り、おもてなしをするという目的を設定した。もてなす活動を通して、生徒それぞれが良さを生かし、全員が主体的に活動に取り組むことができると思う。具体的には、もてなす方法を考えて、そのための計画を立て、招待状づくりをしたり、もてなすための調理学習に取り組んだりする。調理学習では、調理器具や計量器具などの道具を使うことで日常の基本的な活動経験を増やすことができる。また、材料の重さやかさを計量することで、物の形や重さやかさは、物によって違いがあることを知り、物の重さやかさについて関心をもつようになったりすると考える。形として捉えにくい粉や液体は、同じかさの物を複数用意し、重さを比較することで、同じかさでも重さが違うことがあることに気付かせたい。さらに、重さを比較する活動では、自分で予想、検証し、結果を判断したり共有したりすることで、自分の考えに自信をもたせるようにしたい。

このような学習を通して、生徒は身近な物の重さに関心をもち、調理活動など日常生活の中で生かせるようにしたい。また、経験を増やすことで自信をつけ、日常生活でも進んで活動したり、自分の考えをもち、気付いたことを自分なりの方法で伝えたりするようになり、友達と協力して活動に参加する場面が増えると思う。

4 指導計画

※ 別紙の「単元の指導計画」参照してください。

5 本時

単元・題材	おもてなしをしよう	時数	9 / 17	チーフ	寺山	期日	令和3年11月9日(火)5校時	場所	2年1組教室
本時	本時の重点目標	□知識及び技能		☑思考力, 判断力, 表現力等		☑学びに向かう力, 人間性等			
	<ul style="list-style-type: none"> 異なる液体が層になる仕組みについて, 液体によって同じかさでもそれぞれ重さ(比重)の違いがあることを実験やてんびんやはかりを使って確認することができる。 実験結果を予想し, 友達と一緒に検証して結果を判断し, 自分の考えや意見を他者に伝えることができる。 道具を正しく使って, 友達と協力して実験や重さの計量に取り組むことができる。 								
時間	主な学習内容			本時における学びの視点			教師の働き掛け・手立て／指導上の留意点		
5分	1 始まりの挨拶をする。 2 前回の学習の振り返りをする。 3 本時の学習目標を確認する。 水とシロップを合体させて様子を観察し, 考えたことを発表しよう						○ 前時までに使用したてんびんやはかりを教卓上に用意したり, 計量の練習の授業の写真を見せたりすることで, 液体の重さについて学んだことを思い出すことができるようにする。 ○ 透明な水と色が付いたかき氷シロップを使用することで, 液体の入れ替わりの様子が視覚的に分かりやすいようにする。 ○ 液体をこぼすことを想定してグループごとに大きくて浅めのバットや布巾を用意する。 ○ 大きさや形が違う透明のコップを数種類用意することで, 生徒が自分で使用したい物を選んで実験に取り組むことができるようにする。 ○ 予想と結果を記入するワークシートは, 実験装置を図式化したイラストに生徒が色を塗るようにすることで, 生徒が予想と結果をまとめやすくしたり, 自分の予想と友達の予想を見比べたりすることができるようにする。		
25分	4 活動に取り組む。 (1) 教師の見本を見て, 液体を合体させる方法を知る。 (2) 予想を立て, ワークシートに記入する。 (3) グループに分かれる。 (4) 友達と話をし, グループとしての予想を決め, 発表し, 共有する。 (5) グループで道具の準備をする。 (6) 片方のコップを逆さにし, 2つの液体を合体させる。 (7) 結果をワークシートにまとめる。 (8) グループの結果をまとめ, 発表する。			4(4) 学んだことを振り返り, 結果を友達と一緒に予想し, 考えをまとめることができる。【深】【対】					
15分	5 実験の結果を考察する。 (1) 結果の理由を考えるために, 使用したシロップと水の重さをてんびんやはかりを使って比較し, 確かめる。 (2) 結果の考察をワークシートにまとめる。 (3) ホワイトボードに考察をまとめ, 発表する。			4(6) 活動で使用するためのコップの大きさや好きな色のシロップを選び, 興味をもって実験に取り組むことができる。【主】					
5分	6 本時の学習の振り返りをする。 7 次時の学習について予告する。 8 終わりの挨拶をする。			5(1) 前時までに学習したことを基にして, 結果の理由を考えることができる。【深】			○ 発言しやすい雰囲気づくりをし, 自分の考えをまとめることができるようにする。 ○ 重さ比べでは, てんびんを使うことが得意なグループ, はかりを使うことが得意なグループに分かれ, それぞれの生徒が自分で重さを判断することができるようにする。 ○ ホワイトボードにグループの考察を書き, 発表して提示することで, 考えを共有することができるようにする。 ○ 次時では, 数種類の飲み物の重さの違いを利用した層になるドリンク作りの練習をすることを伝える。		
本時における見方, 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 同じかさの液体でも種類が違えば重さが違うことを思い出し, 予想を立てたり, 結果の理由を考えたりすることができる。【理：C物質・エネルギー】 予想や結果の理由を自分で考え, 友達や教師に自分の考えを伝えることができる。【国：A聞くこと・話すこと】 								
引き出した生徒の姿	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに学習した内容を思い出し, 友達と予想を共有して, 水よりも重さの重い(比重が大きい)かき氷シロップがコップの底にたまり, 水と入れ替わることを予想する。 てんびんやはかりを使って, 友達や教師と一緒に同じかさの水とかき氷シロップの重さを再確認して, 実験の結果の理由を考える。 								

単元名「おもてなしをしよう」 予定時数（17）実施時数（ ）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ○（知識及び技能） <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の計量や調理に必要な道具の使い方を知り、道具を正しく扱うことができる。 ・ 身近な食材を使い、物にはそれぞれ重さやかさがあることなどに気付くことができる。 ○（思考力、判断力、表現力等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや気付いたことを相手に伝えることができる。 ・ レシピをインターネットや本で調べたり、試行したりしながら食材の特徴を生かすことで、おもてなしのレシピを考えることができる。 ○（学びに向かう力、人間性等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人のことを考え、おもてなしをするための準備をしたり、招待状作りや調理学習に取り組んだりすることができる。 ・ 学んだことを生かし、自ら活動に取り組もうとしたり、友達と互いに協力して活動に取り組んだりすることができる。 				
1	活動内容 おもてなしの計画を立てよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 2
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おもてなし」の意味を知り、勤労感謝の日と関連させて、身近な人に感謝の気持ちとして、学習発表会の鑑賞会の日に、お菓子とジュース（セパレートドリンク）でもてなすことを知る。 ・ 友達と話し合い、作りたいお菓子を決めたり、役割分担をしたりして、調理学習計画とおもてなしの計画を立てる。 （生活：ウ日課・予定、家庭：B衣食住の生活、社会：ア社会参加ときまり、生活：オ人との関わり） 				
2	活動内容 招待状をつくらう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 1
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞会の日程や場所、発表会の映像の見どころを書いた招待状を作る。 （国語：B書くこと、美術：A表現） 				
3	活動内容 レシピを調べよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 2
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本やタブレット端末のインターネット機能で、作りたいお菓子のレシピをグループで調べる。 ・ どのレシピで作るかを学級で話し合っ決定し、レシピをタブレット端末の写真フォルダに保存し、全員で共有する。（職業：B情報機器の活用、家庭：B衣食住の生活） 				
4	活動内容 材料の重さを測る練習をしよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 2
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の測量に必要な道具の使い方や測り方を知る。（数学：C測定、理科：C物質・エネルギー） ・ 大きな塊や粉物、液体などのさまざまな材料の重さやかさの測り方を知り、実際に計量し、同じ重さでもかさや重さの違うことや、同じかさでも重さの違いがあることを知る。 （数学：C測定、理科：C物質・エネルギー） 				
5	活動内容 セパレートドリンクを作る練習をしよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 3（本時）
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作り方の見本を見て、セパレートドリンクの作り方を知る。 ・ 異なる液体が層になる仕組みについて、液体によって同じかさでもそれぞれ重さ（比重）の違いがあること実験やてんびんやはかりを使い確認する。（理科：C物質・エネルギー、数学：C測定） ・ 数種類の飲み物の重さを測り、重さ順に並べ、層になるドリンクを作る練習をし、ドリンクレシピを考える。（理科：C物質・エネルギー、数学：C測定） 				
6	活動内容 おもてなしの準備をしよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 4
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室用の飾りを作る。（美術：A表現） ・ 道具の使い方を教師と確認し、友達と協力して道具を正しく使ったり、材料を正しく計量したりしてお菓子を作る。（家庭：B衣食住の生活、数学：C測定） ・ できあがったお菓子をラッピングする。 ・ 教室の飾り付けをする。（美術：A表現） 				
7	活動内容 心を込めておもてなしをしよう	知・技	思・判・表	学び・人間性	時数 3
各視点の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだことや練習したことを生かし、友達と協力してセパレートドリンクを作る。 （家庭：B衣食住の生活、理科：C物質・エネルギー） ・ ジュースとラッピングしたお菓子を出してもてなし、相手に感想を聞く。 （道徳：B主として人との関わりに関すること） ・ 自分の活動を振り返り、感想を書いたり発表したりする。 （国語：A聞くこと・話すこと、道徳：B主として人との関わりに関すること） 				

評価	実施時期	適切	要検討
	時数	適切	要検討
	授業形態	適切	要検討
	指導目標の達成	ほぼ達成	達成できず
	指導内容	適切	要検討
	他教科との関連 他学部との関連	無	有
	引き継ぎ事項 その他		